

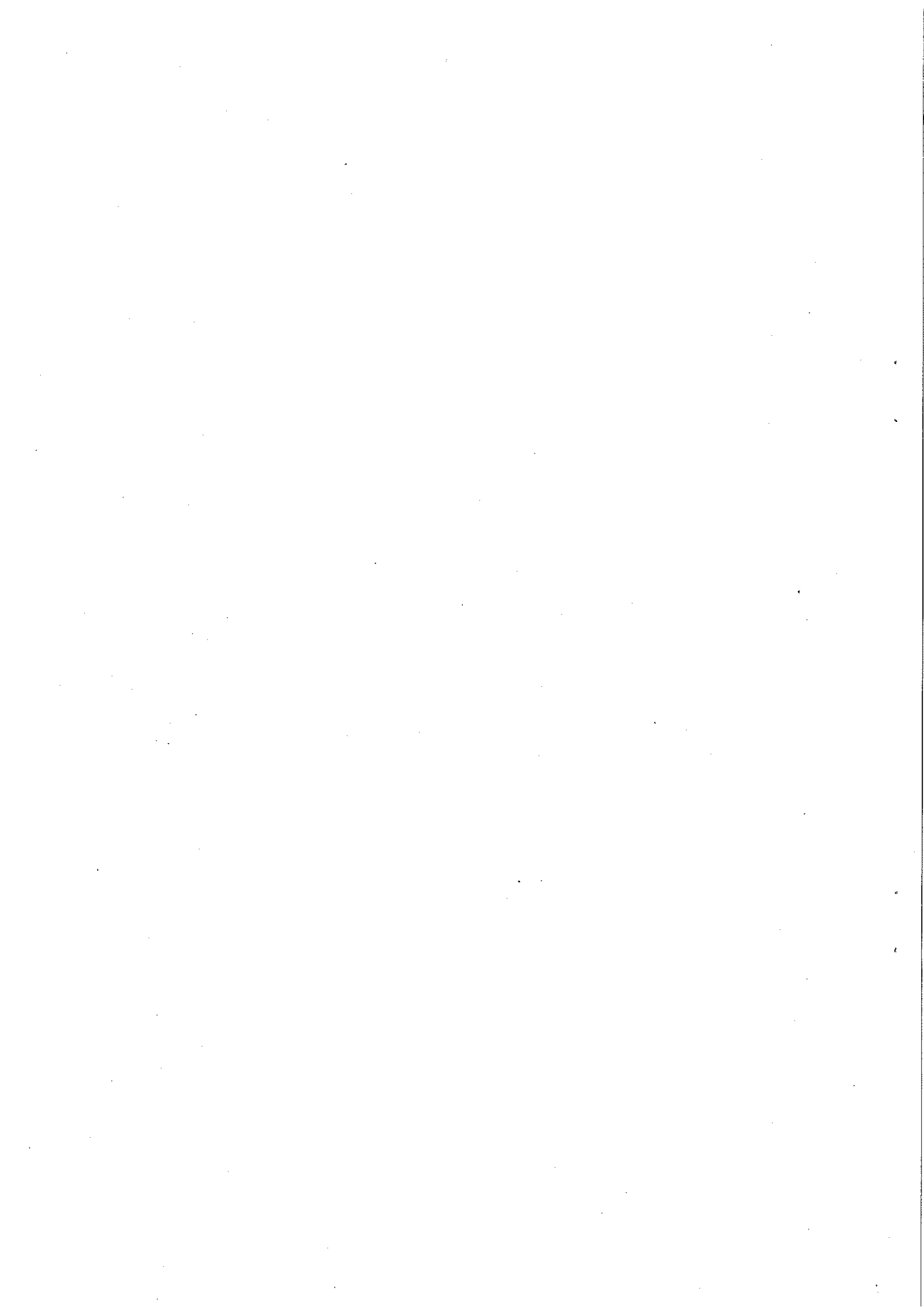
# 危機管理会議

日 時：平成 22 年 5 月 26 日（水）17 時から

場 所：県庁 3 階 特別会議室

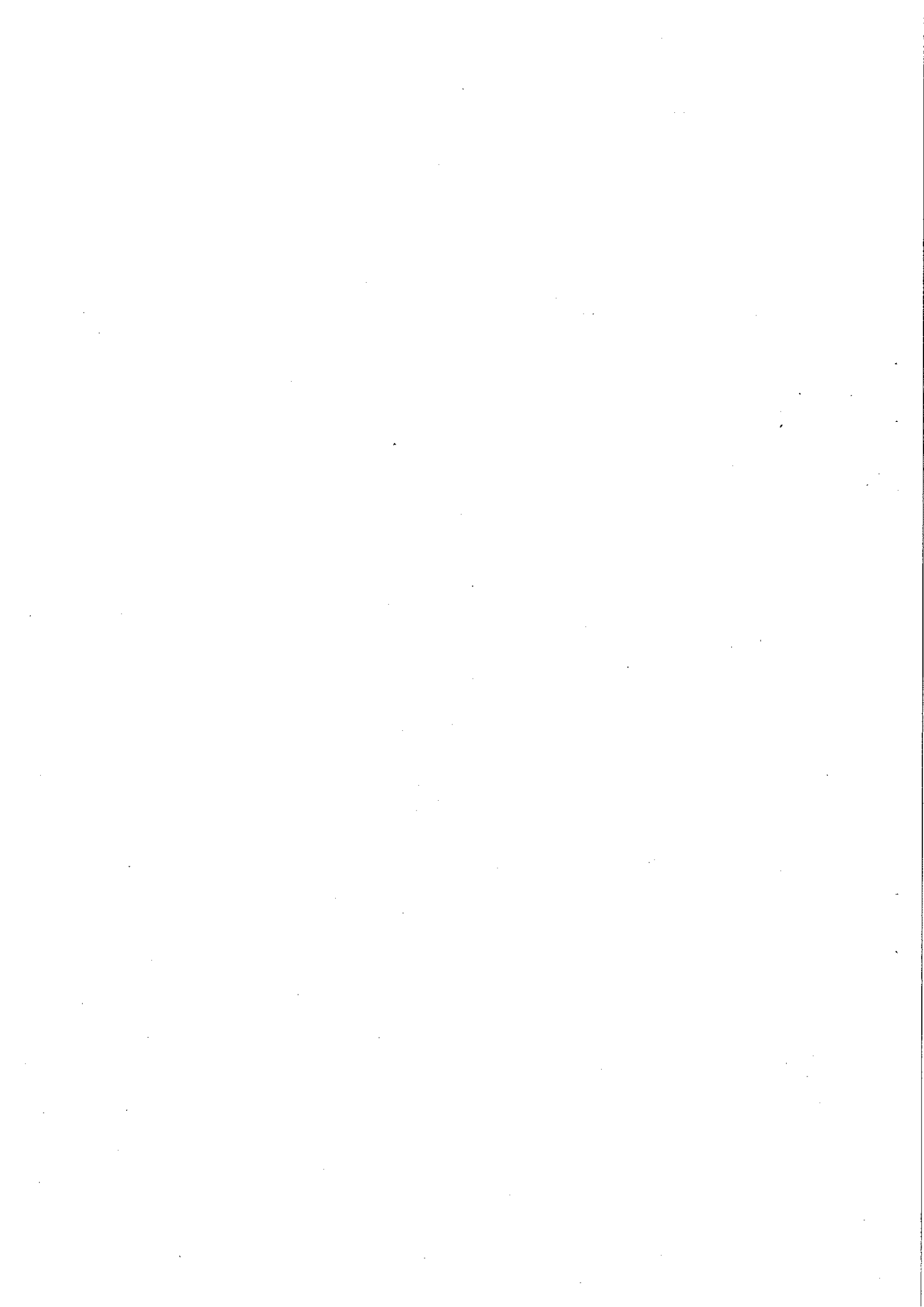
◎ 口蹄疫対策について

- ・ 宮崎県での口蹄疫感染拡大の状況について
- ・ 本県におけるこれまで実施した対策について
- ・ 今後の取組みについて



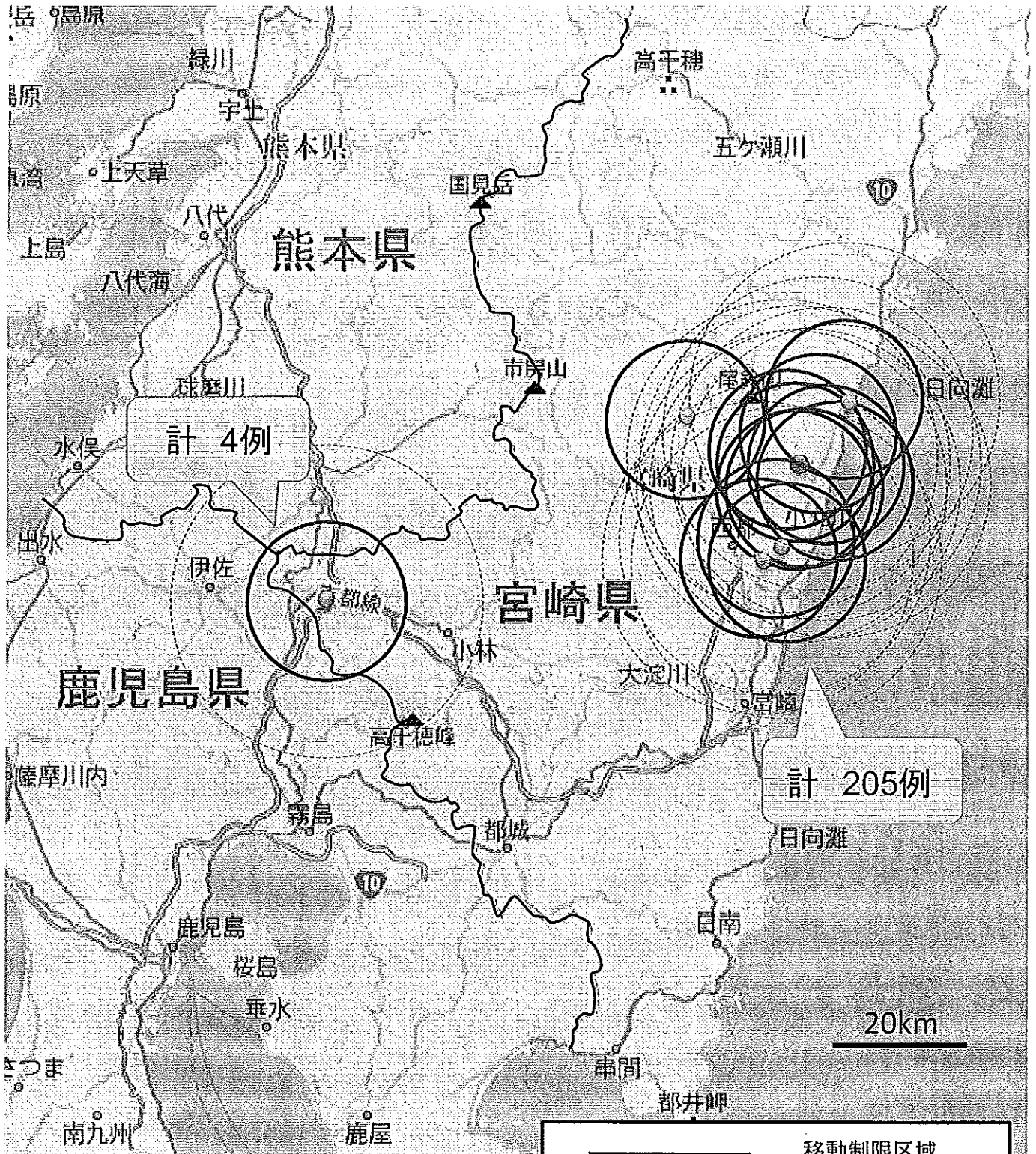
## 資料

口蹄疫の発生状況について（平成 22 年 5 月 25 日） .....	1
これまでの対応状況について（宮崎県資料） .....	2
（国）基本的対処方針（平成 22 年 5 月 19 日 口蹄疫対策本部決定） .....	7
（国）新たな防疫対策について（平成 22 年 5 月 19 日 口蹄疫対策本部決定） .....	9
口蹄疫県内発生時の職員の動員について .....	11



# 口蹄疫の発生状況について

平成22年5月25日



——— 移動制限区域  
(発生地点～半径10km)  
----- 搬出制限区域  
(半径10km～20km)

# これまでの対応状況について

平成22年5月25日  
宮崎県口蹄疫防疫対策本部  
宮崎県農政水産部

No	確認日 ( )は確定日	発生地区	経営形態	規模	現在の状況
1例目	4/20(4/23)	都農町	肉用牛繁殖経営	16頭	防疫措置終了
2例目	4/21(5/2)	川南町	酪農・肉用牛複合	68頭	防疫措置終了
3例目	4/21(5/2)	川南町	肉用牛肥育経営	118頭	防疫措置終了
4例目	4/22(5/2)	川南町	肉用牛繁殖経営	64頭	防疫措置終了
5例目	4/23(5/4)	川南町	肉用牛繁殖経営	75頭	防疫措置終了
6例目	4/23(5/7)	都農町	水牛・豚	44頭	防疫措置終了
7例目	4/25(5/4)	川南町	肉用牛肥育経営	725頭	防疫措置終了
8例目	4/28(5/4)	川南町	肉用牛肥育経営	1,019頭	防疫措置終了
9例目	4/28(5/7)	えびの市	肉用牛肥育経営	275頭	防疫措置終了
10例目	4/28	川南町	豚(畜試川南支場)	486頭	防疫措置終了
11例目	4/29(5/7)	川南町	酪農経営	50頭	防疫措置終了
12例目	4/30	川南町	養豚経営	1,429頭	防疫措置終了
13例目	5/1	川南町	種豚(経済連)	3,882頭	防疫措置終了
14例目	5/2	川南町	養豚経営	299頭	防疫措置終了
15例目	5/2	川南町	肉用牛肥育経営	424頭	防疫措置終了
16例目	5/3	川南町	肉用牛繁殖経営	4頭	防疫措置終了
17例目	5/3	川南町	肉用牛繁殖経営	37頭	防疫措置終了
18例目	5/4	川南町	養豚経営	15,747頭	防疫措置終了
19例目	5/4	川南町	養豚経営	3,010頭	防疫措置終了
20例目	5/4	川南町	養豚経営	780頭	防疫措置終了
21例目	5/5	川南町	養豚経営	679頭	防疫措置終了
22例目	5/4	えびの市	養豚経営	320頭	防疫措置終了
23例目	5/5	川南町	養豚経営	4,434頭	防疫措置終了
24例目	5/6	川南町	養豚経営	687頭	防疫措置終了
25例目	5/6	川南町	養豚経営	4,221頭	防疫措置終了
26例目	5/6	川南町	養豚経営	766頭	防疫措置終了
27例目	5/6	川南町	肉用牛繁殖経営	29頭	防疫措置終了
28例目	5/6	川南町	肉用牛繁殖経営	30頭	防疫措置終了
29例目	5/6	川南町	養豚経営	3,488頭	防疫措置終了
30例目	5/6	川南町	肉用牛繁殖経営	50頭	防疫措置終了
31例目	5/6	川南町	養豚経営	407頭	防疫措置終了
32例目	5/6	川南町	養豚経営	1,011頭	防疫措置終了
33例目	5/6	川南町	養豚経営	141頭	防疫措置終了
34例目	5/6	川南町	酪農経営	75頭	防疫措置終了
35例目	5/6	川南町	養豚経営	2頭	防疫措置終了
36例目	5/7	川南町	肉用牛繁殖経営	46頭	防疫措置終了
37例目	5/7	川南町	養豚経営	5,032頭	防疫措置終了
38例目	5/7	川南町	養豚経営 (関連農場)	6,406頭 1,500頭	防疫措置終了
39例目	5/7	川南町	養豚経営	1,906頭	防疫措置終了
40例目	5/7	川南町	肉用牛繁殖経営	18頭	埋却地決定
41例目	5/7	川南町	肉用牛繁殖経営	67頭	防疫措置終了
42例目	5/7	川南町	養豚経営	640頭	防疫措置終了
43例目	5/7	川南町	酪農・肉用牛複合	97頭	防疫措置終了
44例目	5/8	川南町	養豚経営	663頭	防疫措置終了
45例目	5/8	川南町	酪農・肉用牛複合	66頭	防疫措置終了
46例目	5/8	川南町	酪農経営	9頭	防疫措置終了
47例目	5/8	川南町	肉用牛肥育経営	691頭	防疫措置終了
48例目	5/8	都農町	肉用牛一貫経営	207頭	防疫措置終了
49例目	5/8	川南町	肉用牛肥育経営	186頭	埋却地選定済
50例目	5/9	川南町	養豚経営	1,056頭	防疫措置終了

## これまでの対応状況について

平成 22 年 5 月 25 日  
宮崎県口蹄疫防疫対策本部  
宮崎県農政水産部

No	確認日 ( )は確定日	発生地区	経営形態	規模	現在の状況
51例目	5/9	川南町	養豚経営	613頭	防疫措置終了
52例目	5/9	川南町	肉用牛繁殖経営	17頭	防疫措置終了
53例目	5/9	川南町	肉用牛肥育経営	97頭	防疫措置終了
54例目	5/9	川南町	酪農経営	126頭	防疫措置終了
55例目	5/9	川南町	肉用牛繁殖経営	15頭	埋却地選定済
56例目	5/9	川南町	肉用牛繁殖経営	4頭	埋却地選定済
57例目	5/10	川南町	養豚経営	791頭	防疫措置終了
58例目	5/10	川南町	肉用牛肥育経営	100頭	防疫措置終了
59例目	5/10	川南町	肉用牛繁殖経営	16頭	防疫措置終了
60例目	5/10	川南町	養豚経営	7,903頭	埋却地選定済
61例目	5/10	川南町	肉用牛繁殖経営	9頭	防疫措置終了
62例目	5/10	川南町	肉用牛繁殖経営	15頭	防疫措置終了
63例目	5/10	川南町	肉用牛肥育経営	100頭	防疫措置終了
64例目	5/10	川南町	肉用牛繁殖経営	50頭	防疫措置終了
65例目	5/10	川南町	酪農経営	49頭	防疫措置終了
66例目	5/10	川南町	肉用牛肥育経営	645頭	防疫措置終了
67例目	5/10	川南町	養豚経営	2,820頭	防疫措置終了
68例目	5/11	えびの市	肉用牛肥育経営 (関連農場)	18頭 11頭	防疫措置終了
69例目	5/11	川南町	肉用牛繁殖経営	20頭	防疫措置終了
70例目	5/11	川南町	養豚経営	153頭	防疫措置終了
71例目	5/11	川南町	酪農経営	114頭	防疫措置終了
72例目	5/12	都農町	肉用牛繁殖経営 (関連農場)	12頭 28頭	防疫措置終了
73例目	5/12	川南町	肉用牛肥育経営	288頭	防疫措置終了
74例目	5/12	川南町	養豚経営	1,098頭	防疫措置終了
75例目	5/12	川南町	養豚経営	156頭	防疫措置終了
76例目	5/12	川南町	肉用牛繁殖経営	50頭	埋却地選定済
77例目	5/13	川南町	肉用牛繁殖経営	49頭	防疫措置終了
78例目	5/13	川南町	酪農経営	107頭	防疫措置終了
79例目	5/13	川南町	肉用牛繁殖経営	9頭	埋却地選定済
80例目	5/13	川南町	養豚経営	180頭	防疫措置終了
81例目	5/13	川南町	養豚経営	205頭	防疫措置終了
82例目	5/13	川南町	養豚経営	740頭	埋却地選定済
83例目	5/13	えびの市	肉用牛繁殖経営	46頭	防疫措置終了
84例目	5/13	川南町	肉用牛繁殖経営	36頭	埋却地選定済
85例目	5/13	川南町	肉用牛繁殖経営	76頭	埋却地選定済
86例目	5/13	川南町	肉用牛繁殖経営	9頭	防疫措置終了
87例目	5/14	川南町	肉用牛繁殖経営	26頭	埋却地選定済
88例目	5/14	川南町	肉用牛繁殖経営	35頭	埋却地選定済
89例目	5/14	川南町	肉用牛繁殖経営	30頭	防疫措置終了
90例目	5/14	川南町	肉用牛繁殖経営	13頭	防疫措置終了
91例目	5/14	川南町	肉用牛繁殖経営	5頭	殺処分終了
92例目	5/15	川南町	肉用牛繁殖経営	28頭	埋却地選定済
93例目	5/15	川南町	肉用牛繁殖経営	33頭	防疫措置終了
94例目	5/15	川南町	養豚経営	941頭	埋却地選定済
95例目	5/15	川南町	酪農・肉用牛複合	148頭	防疫措置終了
96例目	5/15	川南町	肉用牛繁殖経営	16頭	埋却地選定済
97例目	5/15	川南町	肉用牛繁殖経営	37頭	防疫措置終了
98例目	5/15	川南町	肉用牛繁殖経営	7頭	埋却地選定済
99例目	5/15	川南町	肉用牛繁殖経営	26頭	埋却地選定済
100例目	5/15	川南町	肉用牛肥育経営 (関連農場)	270頭 231頭	処分、埋却作業中

# これまでの対応状況について

平成22年5月25日

宮崎県口蹄疫防疫対策本部

宮崎県農政水産部

No	確認日 ( )は確定日	発生地区	経営形態	規模	現在の状況
101例目	5/14	高鍋町	(社)宮崎県家畜改良事業団	308頭	処分、埋却作業中
102例目	5/16	川南町	肉用牛繁殖経営	52頭	埋却地選定済
103例目	5/16	川南町	養豚経営	1,211頭	埋却地選定済
104例目	5/16	川南町	肉用牛繁殖	14頭	埋却地選定済
105例目	5/16	川南町	肉用牛繁殖	15頭	埋却地選定済
106例目	5/16	川南町	養豚経営	594頭	埋却地選定済
107例目	5/16	川南町	肉用牛繁殖経営	53頭	埋却地選定済
108例目	5/16	都農町	肉用牛繁殖経営	9頭	防疫措置終了
109例目	5/16	川南町	養豚経営	1,112頭	埋却地選定済
110例目	5/16	川南町	肉用牛繁殖経営	32頭	埋却地選定済
111例目	5/16	高鍋町	県立農業大学校	220頭	防疫措置終了
112例目	5/17	川南町	肉用牛繁殖経営	63頭	埋却地選定済
113例目	5/17	川南町	肉用牛繁殖経営	15頭	埋却地選定済
114例目	5/17	川南町	肉用牛繁殖経営	37頭	埋却地選定済
115例目	5/17	川南町	肉用牛繁殖経営	108頭	埋却地選定中
116例目	5/17	川南町	養豚経営	1,227頭	埋却地選定済
117例目	5/17	川南町	肉用牛繁殖経営	41頭	埋却地選定済
118例目	5/17	川南町	養豚経営	5,488頭	処分、埋却作業中
119例目	5/16	新富町	酪農経営	22頭	防疫措置終了
120例目	5/17	川南町	養豚経営 (関連農場)	445頭 364頭	埋却地選定中
121例目	5/17	川南町	肉用牛繁殖経営	36頭	埋却地選定中
122例目	5/17	川南町	養豚経営	8,617頭	埋却地選定中
123例目	5/17	川南町	肉用牛繁殖経営	124頭	埋却地選定済
124例目	5/17	高鍋町	養豚経営	3,056頭	防疫措置終了
125例目	5/17	川南町	養豚経営	8,068頭	埋却地選定中
126例目	5/17	川南町	養豚経営	743頭	埋却地選定済
127例目	5/18	川南町	肉用牛繁殖経営	41頭	埋却地選定済
128例目	5/18	川南町	養豚経営	1,509頭	埋却地選定済
129例目	5/18	川南町	養豚経営	1,947頭	埋却地選定済
130例目	5/18	高鍋町	肉用牛肥育経営	247頭	埋却地選定済
131例目	5/18	新富町	肉用牛一貫経営	243頭	防疫措置終了
132例目	5/19	川南町	肉用牛繁殖経営	76頭	埋却地選定中
133例目	5/19	川南町	肉用牛繁殖経営	49頭	埋却地選定済
134例目	5/19	川南町	肉用牛繁殖経営	16頭	埋却地選定済
135例目	5/19	川南町	肉用牛繁殖経営	92頭	埋却地選定済
136例目	5/19	都農町	肉用牛繁殖経営	40頭	防疫措置終了
137例目	5/19	川南町	肉用牛繁殖経営	10頭	埋却地選定済
138例目	5/19	都農町	肉用牛肥育経営	135頭	防疫措置終了
139例目	5/19	川南町	養豚経営	782頭	埋却地選定済
140例目	5/19	川南町	養豚経営	341頭	埋却地選定済
141例目	5/19	新富町	肉用牛肥育経営	800頭	処分、埋却作業中
142例目	5/19	川南町	養豚経営	513頭	埋却地選定済
143例目	5/19	高鍋町	肉用牛肥育経営	1,521頭	埋却地選定中
144例目	5/19	高鍋町	肉用牛繁殖経営	1,316頭	埋却地選定中
145例目	5/19	川南町	養豚経営	892頭	埋却地選定済
146例目	5/19	新富町	肉用牛一貫経営 (関連農場)	461頭 58頭	処分、埋却作業中
147例目	5/20	川南町	肉用牛繁殖経営	55頭	埋却地選定中
148例目	5/20	川南町	肉用牛繁殖経営	7頭	埋却地選定済
149例目	5/20	川南町	肉用牛繁殖経営	42頭	埋却地選定済
150例目	5/20	川南町	肉用牛繁殖経営	64頭	埋却地選定済



# これまでの対応状況について

平成22年5月25日  
宮崎県口蹄疫防疫対策本部  
宮崎県農政水産部

No	確認日 ( )は確定日	発生地区	経営形態	規模	現在の状況
151例目	5/20	川南町	肉用牛繁殖経営	49頭	埋却地選定済
152例目	5/20	川南町	肉用牛繁殖経営	38頭	埋却地選定済
153例目	5/20	都農町	肉用牛繁殖経営	6頭	防疫措置終了
154例目	5/20	都農町	肉用牛繁殖経営	16頭	防疫措置終了
155例目	5/20	川南町	養豚経営	2,623頭	埋却地選定中
156例目	5/20	川南町	養豚経営	307頭	埋却地選定中
157例目	5/20	高鍋町	肉用牛肥育経営	589頭	埋却地選定中
158例目	5/20	高鍋町	肉用牛肥育経営	1,050頭	埋却地選定中
159例目	5/20	川南町	養豚経営	146頭	埋却地選定済
160例目	5/21	川南町	養豚経営	690頭 367頭	埋却地選定済
161例目	5/21	川南町	肉用牛繁殖経営	231頭	埋却地選定済
162例目	5/21	川南町	肉用牛繁殖経営	8頭	埋却地選定済
163例目	5/21	木城町	肉用牛一貫経営	884頭	処分、埋却作業中
164例目	5/21	高鍋町	肉用牛繁殖経営	3頭	埋却地選定中
165例目	5/21	川南町	肉用牛繁殖経営	54頭	埋却地選定済
166例目	5/21	西都市	肉用牛肥育経営	200頭	防疫措置終了
167例目	5/21	高鍋町	肉用牛繁殖経営	9頭	埋却地選定中
168例目	5/21	新富町	肉用牛肥育経営	165頭	埋却地選定中
169例目	5/21	新富町	肉用牛繁殖経営	26頭	埋却地選定中
170例目	5/21	高鍋町	肉用牛繁殖経営	115頭	埋却地選定中
171例目	5/21	西都市	(社)宮崎県家畜改良事業団	1頭	防疫措置終了
172例目	5/22	木城町	養豚経営	269頭	埋却地選定中
173例目	5/22	川南町	肉用牛繁殖経営	62頭	埋却地選定済
174例目	5/22	川南町	肉用牛繁殖経営	32頭	埋却地選定済
175例目	5/22	川南町	肉用牛繁殖経営	4頭	埋却地選定済
176例目	5/22	川南町	肉用牛繁殖経営	66頭	埋却地選定中
177例目	5/22	高鍋町	肉用牛肥育経営	118頭	埋却地選定中
178例目	5/22	高鍋町	養豚経営	1,685頭	埋却地選定中
179例目	5/22	川南町	肉用牛繁殖経営	22頭	埋却地選定済
180例目	5/22	川南町	肉用牛繁殖経営	60頭	埋却地選定中
181例目	5/22	川南町	養豚経営	936頭 300頭	埋却地選定中
182例目	5/23	都農町	肉用牛一貫経営	242頭 44頭	処分、埋却作業中
183例目	5/23	新富町	肉用牛肥育経営	255頭	埋却地選定中
184例目	5/23	新富町	肉用牛一貫経営	84頭	埋却地選定中
185例目	5/23	川南町	肉用牛繁殖経営	15頭	埋却地選定中
186例目	5/23	川南町	愛玩用	2頭	埋却地選定済
187例目	5/23	川南町	肉用牛繁殖経営	6頭	埋却地選定済
188例目	5/23	西都市	肉用牛肥育経営	165頭	殺処分終了
189例目	5/23	川南町	養豚経営	321頭	埋却地選定中
190例目	5/23	川南町	養豚経営	355頭	埋却地選定済
191例目	5/23	川南町	養豚経営	5,192頭	埋却地選定中
192例目	5/23	川南町	養豚経営	1,065頭	埋却地選定中
193例目	5/23	川南町	肉用牛繁殖経営	24頭	埋却地選定中
194例目	5/24	川南町	肉用牛繁殖経営	4頭 18頭	埋却地選定中
195例目	5/24	新富町	肉用牛肥育経営	441頭	埋却地選定中
196例目	5/24	都農町	肉用牛繁殖経営	3頭	埋却地選定中
197例目	5/24	高鍋町	県立高鍋農業高校	334頭	殺処分終了
198例目	5/24	川南町	肉用牛繁殖経営	18頭	埋却地選定中
199例目	5/24	川南町	肉用牛繁殖経営	26頭	埋却地選定中
200例目	5/24	新富町	肉用牛肥育経営	179頭	埋却地選定中

## これまでの対応状況について

平成 22 年 5 月 25 日  
宮崎県口蹄疫防疫対策本部  
宮崎県農政水産部

No	確認日 ( )は確定日	発生地区	経営形態	規模	現在の状況
201 例目	5/25	川南町	肉用牛繁殖経営	24 頭	
202 例目	5/25	新富町	肉用牛繁殖経営	107 頭	
203 例目	5/25	都農町	肉用牛繁殖経営	59 頭	
204 例目	5/25	川南町	肉用牛繁殖経営	40 頭	
205 例目	5/25	木城町	養豚経営	2,119 頭	
206 例目	5/25	川南町	肉用牛繁殖経営	9 頭	
207 例目	5/25	川南町	肉用牛繁殖経営	14 頭	
208 例目	5/25	川南町	肉用牛肥育経営	157 頭	
209 例目	5/25	川南町	肉用牛繁殖経営	7 頭	

全体集計： 牛 19,720 頭 豚 128,159 頭 山羊・羊 15 頭  
計 147,894 頭

## 基本的対処方針

〔平成22年5月19日〕  
〔口蹄疫対策本部決定〕

政府は、口蹄疫の発生は、危機管理上重大な課題であるとの認識の下、宮崎県において発生し、拡大しつつある口蹄疫についての対策を更に強化し、総力を挙げて取り組むため、次の措置を講ずることを決定する。

一. 口蹄疫のさらなる拡大を防止するため、移動制限や殺処分などの防疫措置について、徹底・充実させる。

特に、拡大防止に当たっては、消毒が最も重要であるという認識の下、消毒ポイントの増設や消毒の徹底を図るとともに、このための自衛隊の派遣・増員を可及的速やかに実施する。

二. 今回の発生地域は、畜産への依存度が極めて高い地域であることを踏まえ、発生農家や移動制限の影響を受ける農家の生活支援、経営再建・維持のための対策に万全を期することとし、その内容は、農林水産大臣が別途定める。

三. 地元自治体において徹底した対策を講ずることができるよう、地元自治体が負担することとなった経費について、特別交付税を措置するほか、国からの支

払金等の支出の迅速化を図る。

- 四. 農林水産副大臣を本部長とする現地対策本部を設置する。総理補佐官及び各省担当責任者が常駐し、地元の要望等を十分受け止めて国との連絡調整を迅速・的確に行う。

## 新たな防疫対策について

〔平成22年5月19日〕  
〔口蹄疫対策本部決定〕

政府は、口蹄疫の発生は、危機管理上重大な課題であるとの認識の下、宮崎県において発生し、拡大しつつある口蹄疫についての対策を更に強化し、総力を挙げて取り組むため、先日決定した基本的対処方針に加え、別添のとおり次の防疫措置を講ずることを決定する。

- 一. 10 km圏内、すなわち移動制限区域内のすべての牛・豚を対象に、殺処分を前提としたワクチン接種を実施し、接種した家畜に係る経営支援を実施する。更にあわせて、10 km～20 km圏内、すなわち搬出制限区域内からは、製品化した上で出荷する作業を進め、これに伴う価値の低減分について支援を行う。また、一般車両の消毒を行う消毒ポイントを増加する。
- 二. 患畜の殺処分に当たっての手当金の交付の迅速化のため、標準評価額を用いた概算払いを実施するとともに、殺処分の評価額と手当金の差額を宮崎県が負担した場合に特別交付税を措置する。
- 三. 埋却地の円滑な確保、必要な人員の増員を速やかに行う。

(別添)

## 口蹄疫に対する防疫対応等について

### 1. 新たな防疫対策

(1) 移動制限区域内のワクチン接種による感染拡大防止対策

10km圏内のすべての牛・豚を対象として、殺処分を前提としたワクチン接種を行い、接種した家畜については早期殺処分のための殺処分奨励金、経営再開支援金を交付する。

(2) 搬出制限区域からの早期出荷促進対策

10-20km圏内について緩衝地帯とするため、早期出荷を行い、一定期間内の家畜の導入を自粛する場合、早期出荷による価値の低減分、経営再開支援金を交付する。

(注：えびの市地域は別途対応)

### 2. 患畜等手当金の支払い

(1) 手当金(評価額の4/5)の交付の迅速化

① 宮崎県が手当金申請のための疑似患畜評価ができない状況にあることから、標準評価額を用いた概算払い(申請書提出後直ちに)を行う。

② その後、精算払い(評価額確定後)。

(2) 評価額の全額交付

殺処分家畜の評価額と手当金の差額(1/5)について、宮崎県が負担した場合、総務省において全額特別交付税を措置。

### 3. 埋却地の確保

県有地を利用する等、円滑な確保に努める。

### 4. 人員の増員

① 防疫措置を行う獣医師の増員(約50名増員)

② 徹底した消毒を行うための県警(九州管区内)を含む増員

③ 埋却を促進するための自衛隊派遣要員の増員

④ 畜産農家等、経験者の雇い上げ

## 口蹄疫県内発生時の職員の動員について

平成 22 年 5 月 26 日 (水)

危機管理会議

### 1 趣旨

宮崎県での口蹄疫感染拡大の状況を受け、万一、本県で発生した場合に、発生現場での防疫措置実施のため必要となる人員を全庁から確保する。

### 2 想定

県内では、50 ～ 100 頭の牛を飼養する農家が多いことから、今回の動員に際しては、「100頭の牛を飼養している農場で口蹄疫が発生した場合」を想定した。

### 3 職員の動員数

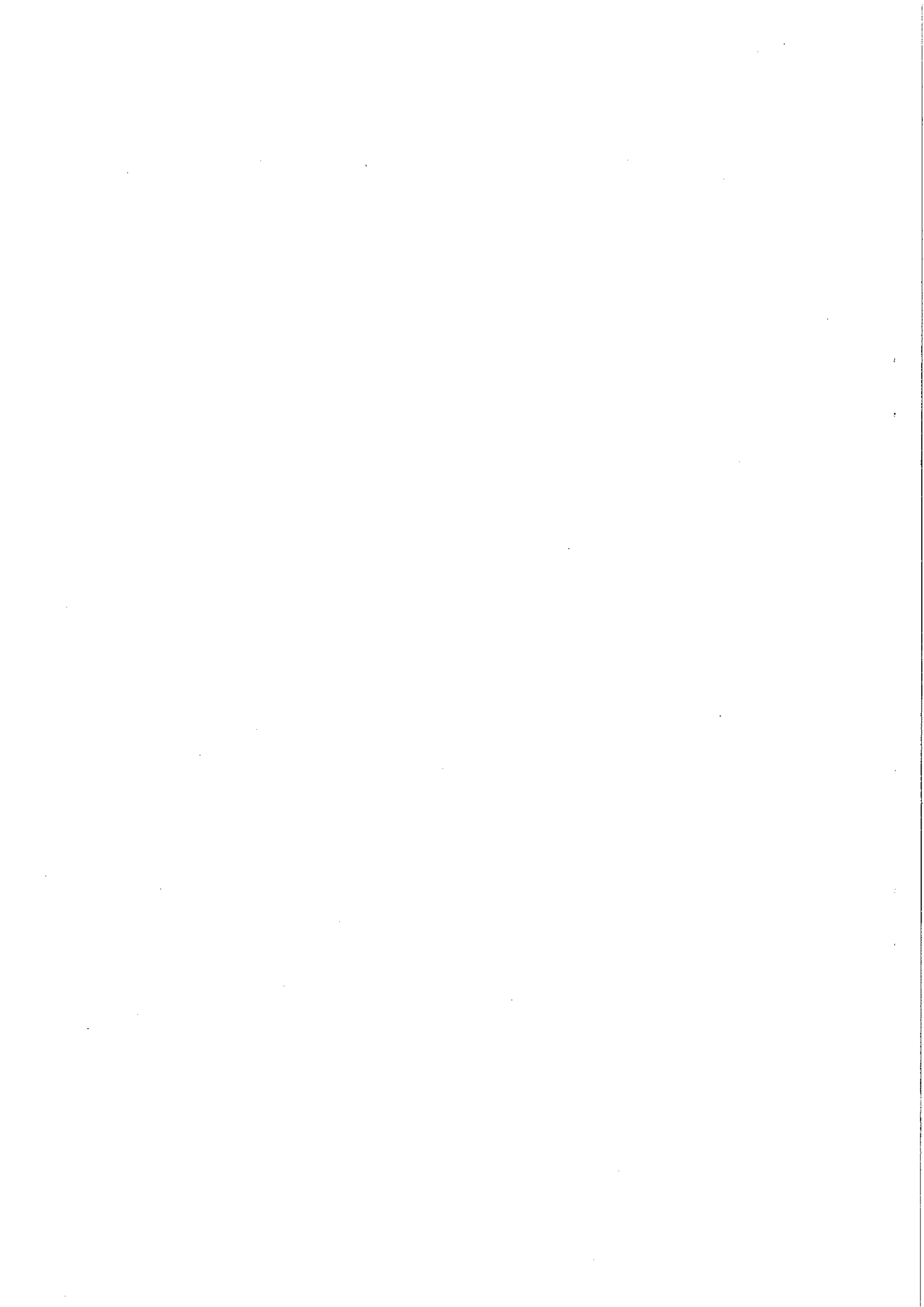
発生現場での通行制限、消毒・移動規制、殺処分や埋却等の防疫措置を実施するため、29日間に、のべ2,900名の職員を動員する。

### 4 動員体制の確保

5月20日、各部局に対し動員名簿の提出を依頼済み（名簿提出予定は27日）。

### 5 その他

実際の発生が想定を上回る場合には、さらに追加の動員を依頼するなど、柔軟な対応を行う。





# 宮崎県における口蹄疫発生に係る徳島県の取組状況

【平成22年5月26日畜産課】

## 1. 会議

○4月20日

### 家畜保健衛生所長会議開催

- ①牛・豚飼養農家全戸の健康状態確認(電話聞き取り調査)
- ②宮崎県からの牛導入状況調査及び導入牛飼養農家の全頭健康状態確認(立入調査)
- ③牛・豚飼養農家の宮崎県及び韓国への渡航歴の確認

○4月28日

### 口蹄疫防疫対策会議開催

- (参集範囲) 県, 市町村, 畜産関係団体
- (内 容) 宮崎県での口蹄疫発生状況及び防疫対応につき周知

○5月17日

### 第2回口蹄疫防疫対策会議開催

- (参集範囲) 県, 市町村, 畜産関係団体
- (内 容) 宮崎県での口蹄疫発生状況及び緊急消毒等について周知

○5月18日

### 四国4県緊急畜産課長会議開催

- (参集範囲) 四国4県畜産主務課, 中国四国農政局(畜産課, 畜水産安全管理課)
- (内 容) 四国4県の防疫対応と連携について

## 2. 防疫対応

### (1) 飼養家畜健康状態確認 (家畜保健衛生所)

○4月20～22日

#### 宮崎県からの牛導入農家全戸確認

- 立入調査により実施 22日終了
- 10戸・219頭 異常なし

○4月20～23日

#### 牛・豚飼養農家全戸確認

- 電話聞き取り調査により実施 23日終了
- 牛396戸 豚 46戸・計442戸 異常なし

○4月24～5月14日

#### 宮崎導入牛の健康状態継続確認

- 最初の確認後, 3週間の間, 原則週1回立入調査により確認
- また, 農家に毎日の臨床観察要請
- 5月14日終了 異常なし

### (2) 県内への侵入・発生防止措置

○5月17日

#### 牛・豚飼養農家への消石灰配布・緊急消毒決定(予備費; 5,000千円)

- (目 的) 農場進入口における車輛・靴底消毒徹底による病原体侵入防止
- (内 容) 農家1戸あたり消石灰20kg・2袋/週×8週間
- 県内各JA本所及び支所に配置, 農家に取りに来てもらう
- 5月18日以降順次JA配置開始

○5月26日

#### オーシャン東九フェリー乗降車両の消毒

- (目 的) 九州からのフェリーで上陸する車両からの病原体侵入防止
- (内 容) 消毒マットによるタイヤ消毒



### (3) 家畜保健衛生所広報

○4月20日

#### 牛・豚飼養農家向け緊急の広報発出（第1報）

（内容） 発生速報，口蹄疫に関する説明，衛生管理徹底

○4月30日

#### 牛・豚飼養農家向け広報発出（第2報）

（内容） 宮崎県における発生状況の周知，実際の症例の写真による口蹄疫症状説明，注意喚起

○5月17日

#### 牛・豚飼養農家向け広報発出（第3報）

（内容） 発生状況続報，消毒情報紹介，互助基金加入促進，消石灰緊急消毒要請等

### (4) 徳島県口蹄疫防疫マニュアルの策定

○5月24日

発生時の防疫対応について，国が平成16年に定めた口蹄疫防疫指針に基づき，発生段階毎における手続き・作業等具体的な対応を策定

## 3. 家畜防疫員等派遣

### (1) 家畜防疫員の派遣状況

○5月1～7日

（派遣人数） 1名

（派遣延べ日数） 実働6日

○5月8～18日（12～18日）

（派遣人数） 2名

（派遣延べ日数） 実働18日

○5月19～6月1日

（派遣人数） 2名

（派遣延べ日数） 実働28日

○5月21～5月28日

（派遣人数） 2名

（派遣延べ日数） 実働14日

○5月24～5月28・29日

（派遣人数） 2名（県獣医師会会員）

（派遣延べ日数） 実働9日

○6月2～8日

（派遣人数） 1名

（派遣延べ日数） 実働7日

### (2) 防疫補助作業員の派遣状況

○5月16～6月5日

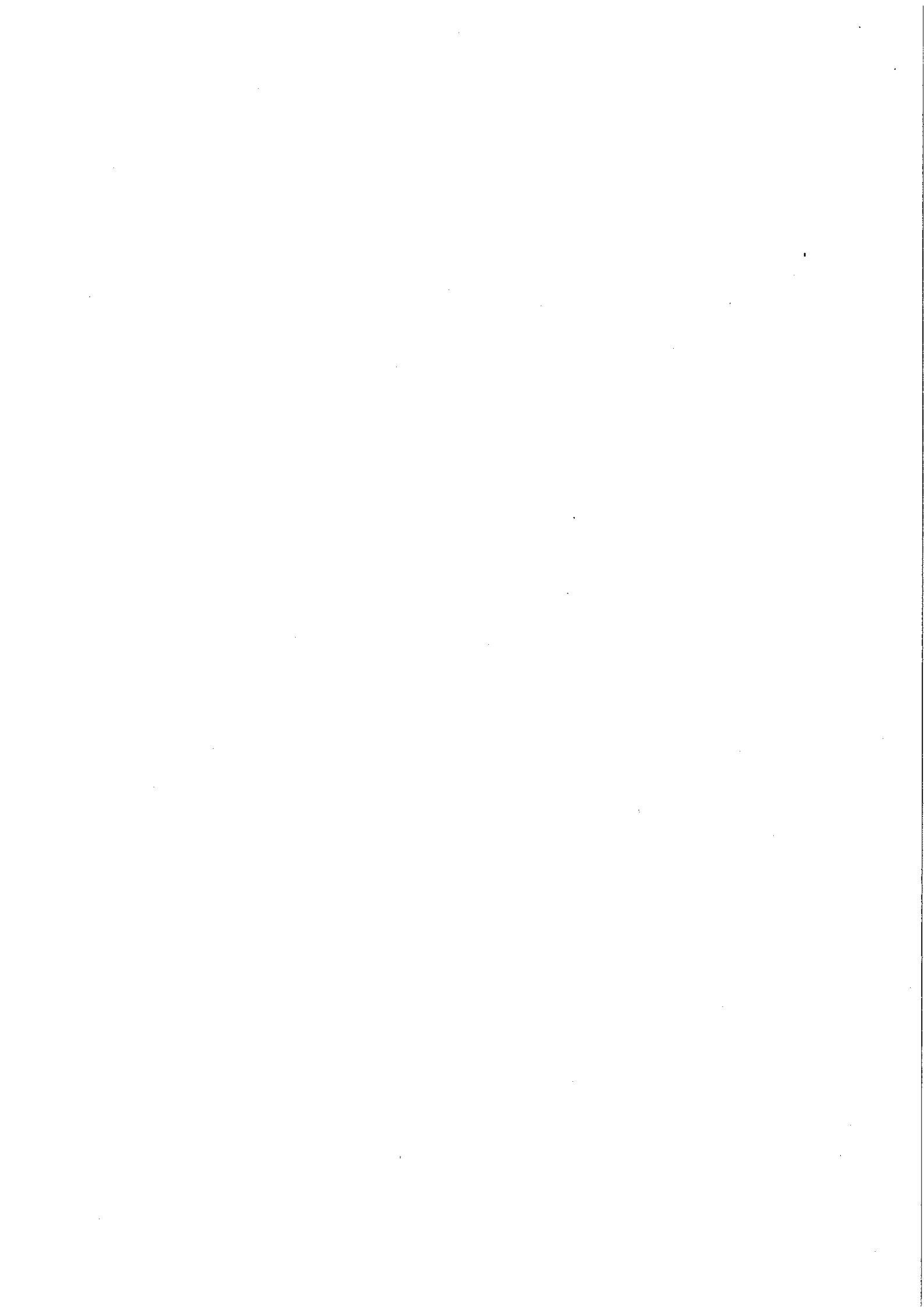
（派遣人数） 3名

（派遣延べ日数） 実働21日

### (3) 家畜防疫・緊急支援チーム「Vサポート徳島」の設置

○5月17日

（内容） 家畜伝染病の発生に際し，緊急的に「家畜防疫員」の派遣要請があった場合，迅速に対応するため，「獣医師」である県職員を中心に，「Vサポート徳島」を設置



## 宮崎県での口蹄疫発生に伴う今後の取組み予定について

### 1 監視体制の強化

畜産農家への巡回指導により

- ・配布した消毒薬による定期的な消毒の徹底
- ・家畜の健康状態の確認調査

### 2 第3回口蹄疫防疫対策会議の開催

参集範囲：県機関、市町及び畜産関係団体

- 内 容：①宮崎県での口蹄疫情報の提供  
②国の支援対策（口蹄疫特別措置法（仮称）等）について

### 3 宮崎県への計画的な人員派遣

- ・「Vサポート徳島」設置要綱に基づく、計画的・組織的な防疫措置人員の派遣

### 4 「Vサポート徳島」派遣団員による報告会の開催

- 報告内容：①宮崎県での防疫措置状況  
②防疫措置における課題及び参考となった事項

### 5 四国四県が連携した防疫体制の整備

- ・組織的な家畜防疫員の協力体制の構築
- ・四国共有の防疫資材の備蓄
- ・種畜の相互保管による遺伝資源の維持

### 6 相談窓口の設置による畜産農家への経営支援

設置場所：農林水産部ブランド戦略総局畜産課（TEL 088-621-2417）  
（社）徳島県畜産協会（TEL 088-634-2680）

- 支援内容：①経営支援資金・事業の説明  
②家畜市場の開催状況及び肥育素牛の市況情報

